

## 【野生動物による畜産被害】

- ① 飼料作物や配合飼料の盗食、幼弱な家畜などへの食害や咬傷、卵の盗食といった直接被害
- ② 豚熱や鳥インフルエンザなどの監視伝染病、疥癬症（ヒゼンダニ）、サルモネラ菌や寄生虫といった家畜の感染症や人獣共通感染症の媒介による健康被害
- ③ 畜舎や倉庫への侵入による損壊、糞尿による異臭などの環境被害



畜産分野では、イノシシだけでなく、タヌキやアライグマといった中型動物による被害が大きいとされています。

## ◆身近にできる野生動物対策～えづけSTOP!～

野生動物による被害がおきるのは、身近に「エサとひそみ場」があるからです。これらを、人間が無意識のうちに提供していませんか？また、柵を設置しても、イノシシの生態を知らなければムダになってしまいます。情報を取り入れながら、有効な対策を講じましょう！

<p>イノシシの体で電流を通すのは鼻だけです。</p> <p>鼻だけ</p>	<p>体は剛毛で、電気や有刺鉄線が当たっても平気です。</p> <p>なんともないや？</p>	<p>鼻先で70kgの物を持ち上げる力があります。</p> <p>70kg よいしょ!!</p>
<p>20cmの高さがあればくぐることができます。</p> <p>ズリズリ 20cm</p>	<p>イノシシのジャンプ力は助走なしで1mを飛び越えます。これぞらいやらしいや!!</p> <p>1m</p>	<p>作物をイノシシから見えないようにすることで被害を防ぎましょう。</p>

「野生鳥獣は許可なく捕まえることはできません」

詳細は、地域振興局やお住いの市町村窓口にご相談ください。



毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」です！

## ○防疫協議会のLINE

登録もお願いします。  
登録は右のQRコードから



長靴を洗った後に踏み込み消毒槽に入り靴裏全体を浸すことが重要

ロソテクトの場合 希釈の目安  
疾病対策時 → 500倍  
通常時 → 1000倍